

1000万円超の被害最多

「犯人はみんなをあの手この手で焦らせてくるなっしー」。船橋市の非公認人気キャラクター「ふなっしー」が電話de詐欺への注意を呼びかける動画が、県警公式ツイッターで公開されている。

約1分20秒の動画は「仕事で失敗して、今すぐお金が必要」「今すぐキャッシュカードの手続きが必要」と犯人が現金やカードを要求する手口を紹介し、甲高い声で締めくくられる。「焦ったときこそ家族や警察に相談するなっしー」。再生回数は県警が公開する動画で最多の約5万5千回と反響を呼んでいる。

一方、今年も電話de詐欺の被害は相次いだ。県警によると、11月末現在の被害件数は1274件、被害総額は過去5年間で最悪の約27億9700万円。前年同期と比べ、件数は285件増え、被害額は約4億8400万円増加した。

1千万円を超える高額被害が過去最多になったことで被害額増につながった。詐欺に気付かず何人も被害に遭ってしまう人が多いといい、県警捜査2課の担当者は「コロナ禍で家族との接触や銀行窓口の利用を避けたい心理があることで、被害に気付きにくい可能性がある」と分析する。

対策強化、AI活用も



市川署とNTT東日本千葉西支店が開いた防犯訓練＝船橋市

手口をみると、親族などをかたるオレオレ詐欺が492件と、前年から200件以上増加。オレオレ詐欺増加の要因について、同課の担当者は「AIを使う還付金詐欺など」と比べ、高額なたんす預金を狙える。感染対策が落ち着いて人流が戻りつつあり、自然に金を受け渡せるようになった」と指摘。被害防止へ一昨年開始の帰省で、改めて家族と対策を話し合っほしい」と話した。

危機的な状況に県警は対策を強化している。千葉市内の5署は、ふなっしーをはじめ、ジェフユナイテッド市原・千葉の選手ら千葉にゆかりのある著名人を起用した啓発動画を県警公式ツイッターで発信。詐欺の手口や対策を知ってもらい、抑止につなげたい考えだ。警告・録音機能のついた電話機の利用が広がる中、最新技術による対策にも期待がかかる。市川

署はNTT東日本千葉西支店(船橋市)と連携し、人工知能(AI)などを活用して詐欺被害を防止しようと、地域の高齢者らと防犯訓練を実施。AIが音声を解析して詐欺を見破り、注意を呼びかけるメッセージが家族や近隣住民へ自動で届く様子が実演された。

現金の受け渡しにネットで募った「受け子」を使えば、捜査の手は主犯格にはなかなか及ばない。詐欺グループとのせめぎ合いは続くが、受け子を逮捕するために張り込み捜査をする警察官、現金を引き出す人に声をかける銀行員、被害防止へ対策機器やシステムを開発する技術者もいる。

電話de詐欺は「家族を助けない」という気持ちに付け入る悪質な犯罪だ。関係者の尽力が実を結び、高齢者が泣くことのない日が来るのを待ち望んでいる。

(報道部 土木田祥平)